



ACEF ニュースレター

2022年6月

いつもACEFのメールニュースをご愛読いただきありがとうございます。ACEFの日本での活動とバングラデシュでのパートナーとの共働事業の今を伝えるために、会員、寄付者、イベント等で出会ったみなさまにお送りしています。本日はACEFの最近のニュースやバングラデシュ現地の情報をお伝えするため、5本の記事をお届けいたします。

✨What's New!✨

- ①<巻頭言>どこに生まれても同じように教育を (安齋 昭子 理事)
- ②6月27日にカレーイベントが開催されました
- ③春のサービスマーケティング参加の学生より一言メッセージ
- ④夏季募金のお願いa
- ⑤バングラデシュの洪水について

※English version available on homepage! → https://acef.or.jp/mail_mag_2022june/

<巻頭言>安齋昭子 理事

どこに生まれても同じように教育を

「子どもたちは生まれる場所を選ばずにこの世にやってきます。現代、日本に住む子どもたちは普通に暮らしていて、生命の危険を感じることはまずないように思います。戦争が起こっているわけでもなく、経済的に厳しい家庭の子どもも、日々の食べ物に困るようなことは少ないし、とりあえず夜安心して眠る場所がない、という子どももほとんどいないでしょう。仕事等で忙しい親に代わって幼稚園、保育園、こども園では大人の保護のもとで安全に過ごすことができ、住民登録をした日本国民の子どもには、ほぼ間違いなく就学通知が届きます。識字率は100%でしょう。その後も中高大、資格取得、あるいは親の家業を継ぐなど、本人が希望すれば、道は無限に開かれています。これが日本では普通、世界中の殆どの国々も同様であろうと信じて暮らしている私たちです。しかし、現実とは違うようです。ある国の子どもたちは家族のために働かねばならない、学校に通わず、子どもたちの労働力が搾取される状況が、親から子、孫への嗣りとしてあることも見聞きすると、自分の視野の外に多くの悲しみが存在することを新たに認識します。たまたま日本で生まれた我が家の子どもと同じように、どこに生まれた子どもも、平等に教育を受けられるようにならなければ、真に平和な地球、その未来はやってこない、と熱い願いをもって、少しずつ差し出していきたいと思う母です。」 (安齋昭子)

6月27日にカレーイベントが開催されました！

6月27日（月）サービスラーニングの大学生を中心にバングラデシュカレーのイベントが開催されました！コロナの影響で長いこと対面でのイベント開催が難しかった中、参加者にとっても非常に貴重な時となりました。サロワカミューズ試着体験や、バングラデシュについての質問タイム、そしてスパイスたくさんのバングラデシュカレーを作って食べ、心も体もポカポカになりました。



春のサービスラーニングの学生より一言メッセージ（青山学院大学）

ACEFでは2019年より、さまざまな大学でサービスラーニング（サービス活動を通じた学び）を受講している学生を受け入れています。今年の春のサービスラーニングでは国際基督教大学から4名、青山学院大学から2名の学生がACEFと関わりを持ってくださいました。1ヶ月ほどの短い期間ではありましたが、一人ひとり一生懸命に学びACEFとともに活動をしてくださいました。

（青山学院大学2年・豊田さん）

「私は、未来を担う子供たちと関わることのできるACEFでの実習内容に魅力を感じ、実習先に決めました。実際に実習が始まってみると、授業の構成作りが難しく、果たして本当に授業本番を迎えることができるのかと、不安になることもありました。しかし、ACEFの方々がバングラデシュについての知識のみならず、私たち学生だけでは思いつかなかったようなアイデアを下さったり、アドバイスをして下さったりしたおかげで、なんとか目的に合った授業を実施することが出来ました。授業の中で小学生に伝えたように、遠く離れた地域に暮らす同じ心をもった人々と、どのように関わり、貢献していけるのか、自分自身でもこれから模索していきたいと思えます。」

（青山学院大学2年・石井さん）

「初めはACEFという団体さんも存じ上げず、バングラデシュについての知識もなかったためACEFのビジョンを小学生の子どもたちに伝える授業を行うということ、自分がやって良いのかという不安な気持ちがありました。

ですが、BDPの先生方やバングラデシュで海外青年協力隊をされていた方など、今まで関わったことのない方々から貴重なお話を聞くことができ、まず私のバングラデシュという国への見方が変わり、固定観念にとらわれない現地の情報を知ることができました。

また、小学校での授業では、バングラデシュの小学生に向けて、生徒たちに手紙を書いてもらう活動を行いました。慣れないベンガル語の名前を真剣に、そしていきいきとメッセージを書く姿から、子どもたちが遠い国の「お友達」であっても大切に作る姿勢を、実感させられました。授業での限られた時間ではありますが、私たちが学生として学び、さらにそれを下の世代の子どもたちに伝えるという、他ではなかなかできない体験を通して、ACEFが掲げている「尊厳」や「共生」といった考えを伝えていくことに、少しでも貢献できたように思います。」

夏季募金のお願い

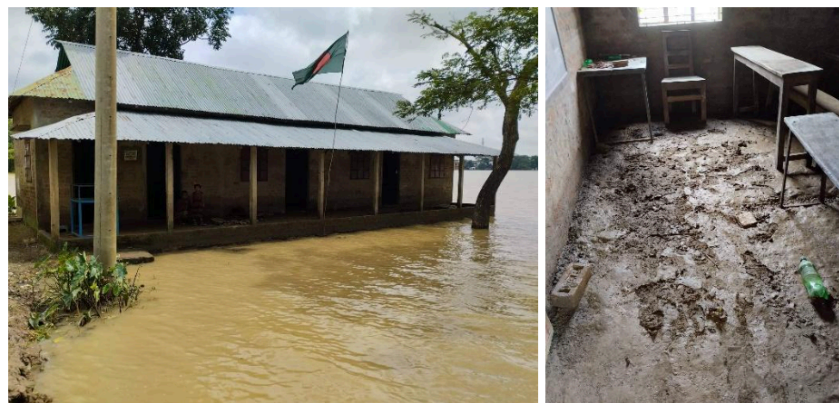
バングラデシュの42校のBDP小学校の約4,000人の学びは、皆様の寄付によって支えられています。現在の急激な円安と世界的な物価の高騰によって、ACEFも財政的に厳しい状況におかれています。皆様の温かい心で、コロナ禍後の学びもお支え下さい。夏期募金はクレジットカード/Amazon Pay/銀行振り込みで9月まで受け付けています。以下のURLから振込サイトに移動します。よろしく願いいたします。

<https://syncable.biz/associate/ACEF1990/donate>

バングラデシュの洪水について

バングラデシュの洪水被害の状況

現在インド北東部とバングラデシュ北東部に甚大な被害を与えている洪水は過去20年で最悪とも言われています。国連バングラデシュ事務所の6月27日付け報告によれば、バングラデシュの9県の720万人が影響を受け、168万世帯が浸水し48万人が避難しているとのこと。今後5県の152万人が支援を必要とされておりパートナー団体のBDPの活動地区のうちネトロコナ地区もその対象地区に含まれています。



BDPの報告によればネトロコナ地区の2つのBDP小学校が浸水し170名の児童が影響を受けています。現在、支援のニーズを調査しています。寄付はクレジットカード/Amazon Pay/銀行振り込みで受け付けています。以下のURLから振込願います(団体へのメッセージに「洪水支援」と記載下さい)。

<https://syncable.biz/associate/ACEF1990/donate>

SNSのご案内

皆さまにいち早くACEFのニュースをお届けすべく、ACEFでは各SNSを運営しております！

【Facebook, Instagram, Twitter, YouTube, LINE】

緊急アナウンスや祈祷課題以外にも、バングラデシュの日常風景や、ACEF国内外の活動について幅広いコンテンツをタイムリーにお届けします。ホームページからフォローできます！

ACEFホームページ↓

<https://acef.or.jp/>

皆さまの多大なるご支援とご協力に感謝申し上げます。
今後ともACEFをよろしく願いいたします。

(特活) アジアキリスト教教育基金 (ACEF)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館26号室

tel 03-3208-1925 fax 03-6278-9180

担当：出立

メールニュースについてのご意見や配信停止はpublic@acef.or.jpまで
